

平成25事業年度

財務レポート



国立大学法人

北見工業大学

当年度は、目的積立金を財源とした女子寮の新築をはじめ、体育館の改修、双方向遠隔授業システムの導入など、特に、教育環境改善のための投資を行いました。研究面においては、ガスハイドレート試料分析装置、三次元計測X線CT装置、熱分解分析システムなどを導入し、本学の特色ある研究推進のために環境整備を行いました。

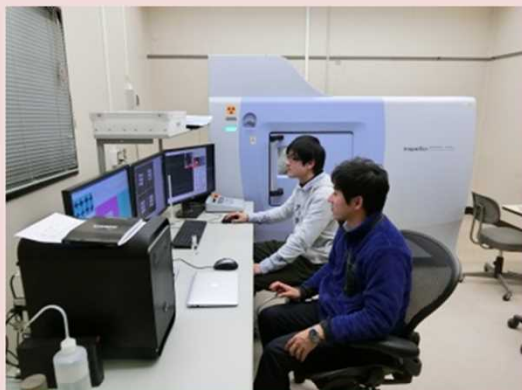
〔財 源〕
目的積立金

〔事業費〕
180百万円



女子寮「北桜寮」の新築

三次元計測X線CT装置の導入



〔財 源〕 施設整備費補助金
〔事業費〕 32百万円

〔財 源〕
国立大学
改革強化
推進
補助金

〔事業費〕
48百万円



双方向遠隔授業システムの導入

熱分解分析システムの導入



〔財 源〕 環境研究総合推進費補助金
〔事業費〕 16百万円

施設・設備の整備

ガスハイドレート 試料分析装置の導入



〔財 源〕 施設整備費補助金
〔事業費〕 59百万円



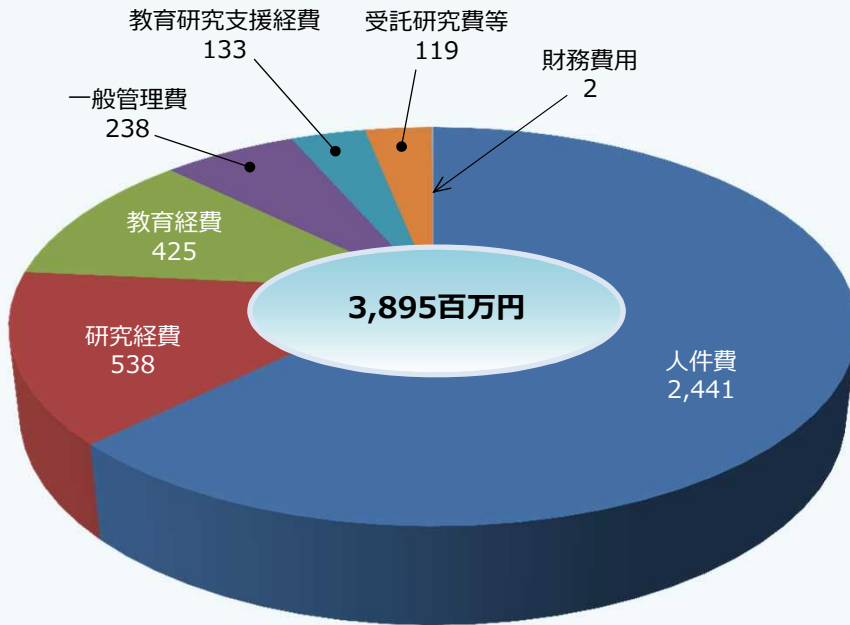
体育館の改修

〔財 源〕
運営費交付金
ほか

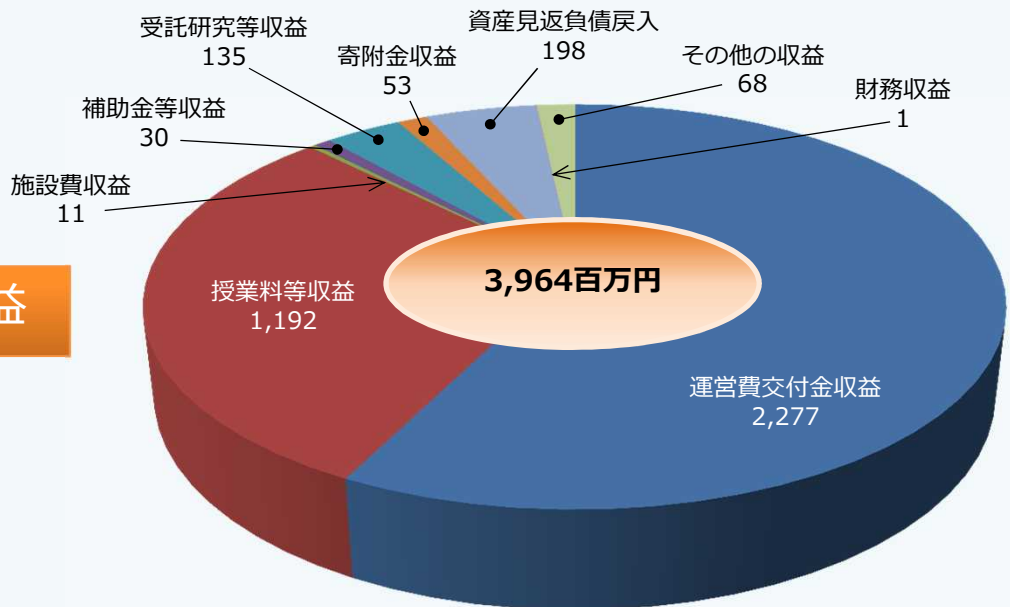
〔事業費〕
85百万円

平成25事業年度の損益報告

詳細は財務諸表をご覧ください。



経常費用



経常収益

単位：百万円

経常費用	3,895
経常収益	3,964
経常利益	69

経常利益

経営努力等

経費削減への取り組み

- ・北海道内の国立大学等と連携して取り組んだ「コピーサービスの共同調達」により、コピー料金的大幅削減を達成
- ・稼働率の低い「除雪車両を売却」することでランニングコストを削減

自己収入確保への取り組み

- ・外部資金獲得のため「科研費パワーアップセミナー」や「科研費ピアレビュー」を実施、「研究助成等公募カレンダー」を作成
- ・北海道内の国立大学と連携して取り組んだ「資金の共同運用」により運用益を獲得

不正防止への取り組み

- ・教職員に対して「研究活動に係る不正行為及び研究費の不正使用の防止について周知徹底」したほか、不正発生要因を把握するための「学内意見交換会」を実施
- ・研究費の不適切な取扱いを防ぐため、教員等への個人宛て寄附金に係る調査を実施

資産の状況

単位：百万円

	平成25年度	平成24年度	増減		平成25年度	平成24年度	増減
資産の部	10,634	10,145	489	負債の部	3,610	2,992	618
土地	1,566	1,566	0	資産見返負債	2,000	1,774	226
建物・構築物	5,708	5,581	127	その他の固定負債	53	112	▲59
機械装置・工具器具備品	799	748	51	運営費交付金債務	135	293	▲158
図書	1,024	1,021	3	その他の流動負債	1,422	813	609
その他の固定資産	106	41	65	純資産の部	7,024	7,153	▲129
現金・預金	1,374	1,160	214	政府出資金	4,333	4,333	0
その他の流動資産	57	28	29	その他の純資産	2,691	2,820	▲129

北見工業大学の理念と使命

北見工業大学は「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」を理念に掲げ、高度化・複雑化している科学技術の急速な進展の中で、「個々の専門分野についての基盤的な技術、知識を有するのみならず、学際領域や新しい分野の開拓にも柔軟に対応できる能力を持ち、自然と調和した科学技術の発展と国際社会への対応を念頭においた技術開発を行い得る人材を養成する」ことを使命としている。このことをもって、本学は地域社会の発展はもとより、国家・国際社会の安全と平和および文化の進展に貢献する。

北見工業大学の基本目標

向学心を喚起し、創造性を育み、将来の夢を拓く教育
個性に輝き、知の世紀をリードし、地域特色のある研究
地域のニーズに応え、地域をリードし、地域の発展に貢献
国際的視野を踏まえた教育研究、学生・教職員の国際化を推進